

野洲市須原水害履歴マップその①(全3枚)

(H26.8.1,須原自治会館で行った聞き取り調査に基づき作成、参加者7名)

~須原の概要~

地域特性

- ・須原は周辺地域に比べて地盤が低い。
- ・現在は80世帯350人程度が住んでいる。
- ・以前は日常の交通手段に田舟を使用しており、各家に二艘程度存置していた。

水害時の備え

- ・集落の方々は土囊積み(魚のゆりかご水田で経験済み)や炊き出し(夏祭りで行う)を皆行う事が出来る。
- ・毎年自治会の役員が炊き出しの道具を整備し管理している。
- ・災害時の情報伝達・自主防災システムは確立していない。



HP: せせらぎの郷須原より引用

水害防備林

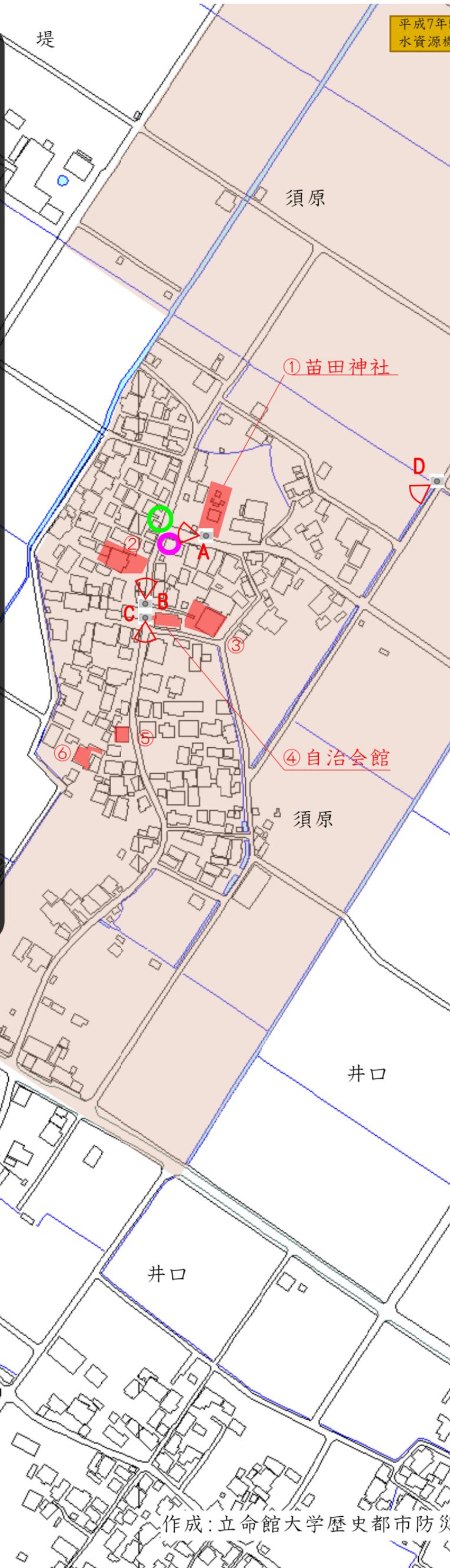
- ・旧野洲川堤防の両端に竹藪が広がっていた。
- 効用 : 竹林は堤防を強くする効用がある。
- 所有形態: 個人が権利を少しずつ所有していた。
- 所有地域: 堤、下堤の住民が(水防林の権利を)所有。須原でも数人所有していた。
- 分布 : (旧野洲川河口の)マイアミキャンプ場付近には一部現存している。
- その他 : 所有者以外は普段堤防に近づかない。タケノコの収穫時期は入った。

住民の声

- ・河川改修後野洲川による越水の心配はなくなった。
- ・(過去に琵琶湖洪水による被害があり)琵琶湖の水位を早めに低下させてほしい。
- ・台風襲来前にダムを水位を低下させる必要がある。
- ・南郷立木観音付近の土砂崩れが心配

- ① 苗田神社
- ② 唯念寺
- ③ 西徳院
- ④ 須原自治会館
- ⑤ たちばな屋
- ⑥ 中原酒店

須原範囲



平成7年5月琵琶湖水位上昇に伴い、安治地区で浸水被害が発生した。水資源機構の排水ポンプを稼働してもらった。



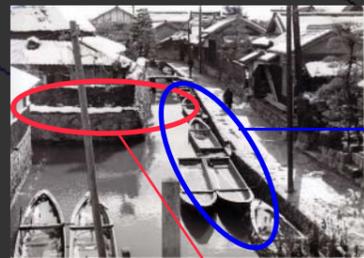
苗田神社前より…A

- ・以前は田舟作りの職人の工場があった。
- ・以前はきれいな橋があった。
- ・この付近の地表面は集落内で一番高い。



自治会館前より下側…B

- ・以前は集落内を田船で行き交う水路があった。
- ・水路と道の幅はともに1.5m程度。
- ・水路の堀の深さは1~2m程度で泳げるほどだった。
- ・現在は埋められて道路になっている。



当時の田舟は比留田に現存する。



当時の石垣が現存する。

自治会館前付近…C



H25台風18号において田刈りのワラが詰まった水路…D

- ・撤去に軽トラ25台分を要した。
- ・水路に落差がないので水が引きにくい。

作成: 立命館大学歴史都市防災研究室